

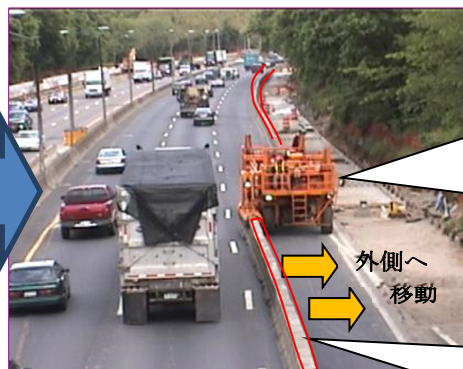
新潟初！ロードジッパーシステムを活用することにより、お客さまのご利用が多い時間帯に合わせて通行できる車線数を変化させ、工事規制による渋滞の抑制を図ります。

ロードジッパーシステム(Road Zipper System)とは・・・  
LINDSAY社(アメリカ)が開発・製造・販売しているシステムで、コンクリート製防護柵の設置位置を、専用の防護柵切替車両(BTM:Barrier Transfer Machine)を活用し、移動させることができるシステム。NEXCO東日本グループの(株)ネクスコ東日本イノベーション&コミュニケーションズが日本国内の販売店となっています。

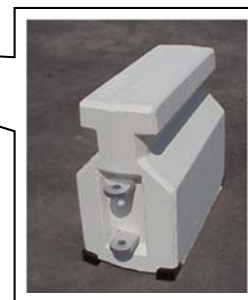
### <ロードジッパーシステムの事例 (ニューヨーク州)>

《ラッシュ時以外の時間帯》

《ラッシュ時の時間帯》



《防護柵切替車両(BTM)》



《コンクリート製防護柵》

防護柵切替車両の進行に伴い  
コンクリート製防護柵を路肩に移動

コンクリート製防護柵を用いて  
作業エリアを確保

### <導入メリット>

- ・お客さまのご利用が多い時間帯に合わせて通行できる車線数を変化させ、工事規制による渋滞の抑制を図ることができます。
- ・コンクリート製防護柵にて通行車線と工事を行う作業エリアを完全に分離することにより、お客さま及び作業エリア内での工事の安全性が向上します。
- ・車線規制の切り替えを素早く実施できることから、工事全体の作業効率が向上します。

### <国内での利用実績>

- ・NEXCO東日本の管理エリアにある常磐自動車道、東京外環自動車道、関越自動車道、道央自動車道における工事規制に活用された実績があります。
- \*新潟県内では、初めての使用実績となります。